

■■■■■ 様

2020年5月11日

前略

■■■■■様が7月の鹿児島知事選挙に立候補されるとの報道がなされております。私どもの強い関心事に対する候補者様の見解を賜りたく、公開質問状を送らせていただきます。

全国でも有数の観光スポットである霧島神宮を有する霧島市旧霧島町に於いて、景観破壊、環境破壊のみに留まらず、地域住民を危険に晒す大規模な太陽光発電所建設計画が進められております。

開発計画とは、80メガワットという鹿児島県内最大規模の太陽光発電所を急傾斜地に建設する構想で、本社を米国メイン州に置く福岡の企業、SEJ IV 合同会社が行うものです。SEJ IV が鹿児島県に提出した環境影響評価方法書によりますと、135ヘクタールの山地の72ヘクタールを改変区域とし、森を伐り、山を削り、谷を埋め、25万枚余のソーラーパネルを設置する構想です。

計画地は凝結凝灰岩又は安山岩を基盤岩としてシラスが表層を覆った構造であり、侵食され易い地質です。地形は高千穂リゾートランドから霧島川へ向かう急傾斜地であり、多くの湧水場所が確認されます。過去に幾度も土砂災害が発生している場所でもあります。また、台風によるパネルの破損リスク、近年多発する局地的豪雨、森林が失われることによる気温の上昇、雨水の土壌への浸透不可による洪水、河川水の汚濁、景観へのダメージ等、この工事は自然を破壊し、地域の環境を著しく悪化させるものです。

更に、パネルの劣化により20年後には事業の撤退が見込まれますが、その跡地をどうするかの具体策はなく、広大な禿山が出現することが懸念されます。

この計画に対し霧島市長、霧島市議会、霧島神宮、地域の医療施設、老健施設、自治会、水利組合、内水面漁協は明確に反対を表明しております。

全国的に太陽光発電事業者と地域住民間で同様な係争が多発しております。静岡県・伊東市、愛知県・東浦町、千葉県・鴨川市、栃木県・日光市、長野県・諏訪市、三重県・伊勢市、高知県・四万十市、茨城県・つくば市等々、多くの事例があります。太陽光発電事業者は合同会社を法人形態とするところが大多数で、極めて少額の資本金で設立されており、法人そのものが投資対象となっている実情があります。利益最優先、投資本位の合同会社が自然保護、景観保全の概念を持つか、将来にわたって法人としての責任を遂行するか、大きな不安要素でもあります。

添付しております諸団体の不同意書の開発行為者は度々変遷があり、当初は熊本の乙女農園、次いで福岡の正信ソーラーホールディングス、現在はSEJ IV 合同会社であり、太陽光発電事業が投資対象になっている事をご理解いただけたと思います。

私達は再生可能エネルギーを否定する者ではありませんが、あまりにも自然環境を破壊する計画が多く展開されています事に危機感を抱いております。

計画地と隣接地の境界線上に巨石群があり、それらの巨石に日露戦没記念林碑が刻まれ、大山祇神の碑もあります。地域は扇山と称し、古くから畏敬の場との念が地元にはあります。国立国会図書館に収納された「天孫古跡探查要訣」には扇山地域を調査した略図等が記載されておりますが霧島市には詳細な記録がありません。地元古老への聴取を行い、文化財的価値を確認する行動を行っています。計画地周辺は荒襲街道、霧島古道の存在を裏付ける古文書もありますが、残念な事に旧霧島町の文化財発掘は積極的に行われなかったとの記録も見つかりました。山岳信仰、廃仏毀釈、隠れ念仏などの遺跡、遺構の発掘、確認作業を実施中です。

このような状況である事をお伝えし、以下の質問に回答ねがいます。

1. 資源エネルギー庁は法令、条例に反している事が確認できれば、たとえ稼働中の施設であっても発電の認可を取り消すとしており、地域の実情に即した条例の制定を推奨しています。鹿児島県の地質、地形に即した太陽光発電事業の規制条例制定のお考えがありますか？

有り なし 検討する わからない

見解

2. 鹿児島県が誇る観光地霧島の自然を破壊し、住民の生命を脅かす開発計画について、候補者様が知事になられた暁に、その許認可をどのようにされますか？ ご見解をお聞かせ下さい。

認可すべきでない 認可すべきである 実情を確認し、検討する わからない

見解

3. 2020年4月10日、地域における文化観光の推進に関する法律（文化観光推進法）が成立しました。我々は、開発計画中止後の跡地を、鹿児島県、霧島市、地権者の3者が協力する形で、文化観光推進法の趣旨に沿った自然、景観、文化、伝統、歴史を大切にする森林セラピー公園にできないかと思えます。積極検討をお願いできないでしょうか？

検討する 検討しない わからない

見解

草々

ご回答は5月末日までをお願いいたします。

マニフェストがありましたら、同封お願いいたします。

霧島虎ヶ尾岡メガソーラー建設反対協議会

会長 神田嘉延（090-7580-2029）

kandayoshinobu@kud.biglobe.ne.jp

事務局 中村満雄（080-8500-0803）

霧島市霧島田口 2703-99

mituo.na@eos.ocn.ne.jp

添付資料

1. 旧霧島町住民への広報資料

2. 添付資料 新聞報道

朝日新聞 _H280520 霧島のメガソーラー現場事故

朝日新聞 _H280708 不同意書提出

南日本新聞_H290517 野久美田メガソーラー大量土砂流出

南日本新聞_H290909 太陽光パネル処分不適切

神戸新聞 _H300712 太陽光パネル崩落_新幹線を止める

南日本新聞_H300913 鹿県覆う火山性土壌

南日本新聞_H300925 太陽光先行き懸念_出力抑制へ

南日本新聞_H310227 霧島市_虎ヶ尾岡メガソーラー反対表明

南日本新聞_H310419 虎ヶ尾岡メガソーラー不認可要請

南日本新聞_H311213Fit 法から大規模太陽光を除外

南日本新聞_RO20124 太陽光発電の規制強化

南日本新聞_RO20205 太陽光発電買取価格値下げ

南日本新聞_RO20318 怒号飛び交う方法書説明会

南日本新聞_RO20321 霧島メガソーラー建設反対決起集会

3. 添付資料 テレビ放送（QRコードから動画をご覧くださいませ）

太陽光パネル火災



霧島市長 反対表明



県議会議員現地視察



環境影響評価

方法書説明会



メガソーラー建設反対
決起集会



4. 不同意書 提出団体は以下のとおり

霧島神宮、医療法人・杉安病院、焼酎蔵・明るい農村、特養施設・翔朋園、老健施設・きりしま

老人ホーム・みち草、霧島地区自治公民館連絡協議会、旧霧島町在住霧島市議会議員

狩川水利組合、小窪水利組合、大窪水利組合、鍋窪水利組合、白土水路組合、栞田水路組合

錦江漁業協同組合、松永漁業協同組合、日当山天降川漁業協同組合